

令和2年3月19日

南房総市議会議員 飯田 彰一 様

福祉委員会委員長 阿部 美津江

福祉委員会所管事務調査報告書

本委員会は、去る平成30年9月の委員会において、「災害に強いまちづくり」を所管事務調査項目とし、防災の上で必要な「公助・共助・自助」の観点から自主防災組織等を中心に調査研究を行ってきました。調査途中では台風15号等による被害で被災地となりましたが、当事者としての理解を深めることにより、鋭意、調査・研究を行いました。

ここに、所管事務調査の活動を総括し、下記のとおり報告します。

記

1. はじめに

少子高齢化が進む中、南房総市の高齢化率は4割を超えており、実際に災害が起こった場合、まずは人命第一ですが助け合うための人手も少なく、身を守ること自体が非常に困難な状況です。

そこで本委員会として、市民の命や生活を守るため、日ごろの備え、また自主防災組織を含め、防災・減災について調査・研究を行いました。

2. 調査の概要と経過

研究手法として、本市の防災についての現状把握及び委員それぞれの認識について意見交換を行いました。まず本市の防災について状況を調査するため、計2回、市内の視察・調査を実施しました。市が保有する備蓄倉庫だけでなく、各地区の自主防災組織の視察、また市民との意見交換も行ったことで、本市の現状を委員間で共有でき、課題を明確にしていきました。

当初は本市の地形的観点から、主に地震や津波を想定して調査・研究を行ってきました。大地震後の津波を想定し、いかに身を守れるかについて議論しました。市内でも特に活発に活動している白浜地区の下沢区と丸山地区の大井区自主防災組織「かわせみ」の視察を行ったところ、自主防災組織がいかに重要な役割であるか、また定期的な訓練やいわゆるご近所づきあいといったコミュニケーションも必要であると感じました。沿岸部である下沢区では津波を想定した防災訓練を行い、車いすを使ったシミュレーションも行うなど、独居老人にも配慮した訓練を行っていました。山間部にある大井区の「かわせみ」では、震災時にはがけ崩れ等で孤立し

てしまうという恐れのある地形であるため、非常時の通信手段や、一定期間、区内だけで安心して暮らせるように備品や食料を準備していました。両地区とも訓練等を通して独り暮らしの方の安否確認をしているとのことでした。これら自主防災組織での地震・津波の想定はかなり根付いているものと思われます。ただ、このような充実した自主防災組織ばかりではありません。この2つの組織のような自主防災組織が増えるよう、行政が指導する必要性があると思われます。また、ウェザーニューズと東京臨海広域防災公園へ委員派遣を行い、防災・減災について大局的な視点から研究しました。

そして、この調査期間中の令和元年9月、台風15号等により、今まで経験したことのない甚大な災害が起きました。これにより、いかに風水害に弱い土地であったかを認識し、実際に被災者となった市民に寄り添う形での調査・研究へと対応を変化させました。まず、防災無線が使用不能になった事よりの確な情報が把握できないため、市民に不安感を募らせてしまいました。地域によっては、何日にもわたる避難所での生活を余儀なくされ、また慣れない生活で疲れがたまり、加えて暑さなどによって体調を維持するのが難しい状況でもありました。さらにプライバシーの問題、高齢者や障害者等、身体的に不自由な方が問題なく過ごせる避難所運営が必要であることがわかりました。議会としても今回の災害で、発災直後は通信手段が確保できずに初動が遅れたこと等、今後の課題と考えますので、市役所や議員間の連絡網の確保と災害時のマニュアル等、作成が望まれます。

これらのことから、あらゆる角度から災害を想定し、来期の委員会でも調査研究を継続されることを望みつつ、本委員会としての現段階における市に対する要望書を作成しましたので、別紙のとおり提出いたします。

以上、福祉委員会で調査・研究した内容として報告いたします。

【調査経過】

	開催日	内 容
1	平成30年6月20日	所管事務調査事項の検討
2	平成30年6月28日	所管事務調査事項の検討
3	平成30年9月10日	所管事務調査事項の決定 ⇒「災害に強いまちづくりについて」をテーマとすることで確認
4	平成30年11月19日	調査内容の検討 ⇒まずは市内の現状把握をするため、一時避難場所、防災備蓄倉庫等、市内の現状について視察することに決定

5	平成30年12月10日	市内視察 <ul style="list-style-type: none"> ・富浦地区（防災センター、本庁防災用備蓄倉庫） ・富山地区（富山学園防災倉庫） ・三芳地区（滝田区民会館防災倉庫） ・白浜地区（白浜地域センター、下沢区倉庫） ・千倉地区（千倉七浦体育館防災倉庫） ・丸山地区（丸山分庁舎倉庫、丸山分庁舎） ・和田地区（和田地域センター）
6	平成30年12月12日	市内視察後の意見交換 次回の市内視察について
7	平成31年2月28日	市内視察 <ul style="list-style-type: none"> ・富浦地区（南無谷区） ・富山地区（高崎区） ・三芳地区（三芳農村環境改善センター） ・白浜地区（乙浜区） ・千倉地区（千倉こども園3階） ・丸山地区（大井区防災かわせみ） ・和田地区（北三原多目的集会研修施設）
8	平成31年3月4日	市内視察後の意見交換 DVD「防災教育から生まれた『釜石の軌跡』～片田教授に聞く」視聴 次回の視察について
9	平成31年4月26日	委員派遣について ⇒令和元年5月28日、ウェザーニューズ及び東京臨海広域防災公園へ派遣決定
10	令和元年5月28日	視察 ⇒(株)ウェザーニューズ・東京臨海広域防災公園（そなエリア）
11	令和元年6月19日	視察後の意見交換 次回視察先の検討
12	令和元年9月	台風15号等による被災 ⇒被災地になった観点からの調査・研究へ
13	令和元年12月12日	これまでの調査・研究の整理 ⇒所管事務調査報告書（素案）作成のため、各自意見を提出
14	令和2年1月27日	調査報告書（素案）の確認
15	令和2年3月5日	所管事務調査報告書（案）の確認 ⇒定例会最終日（3月19日）に報告することで確認

3. 要望事項（詳細は別紙）

- ① 危機管理体制の拡充について
- ② 自主防災組織の充実について
- ③ 避難所等について
- ④ 災害時要支援者への支援体制について
- ⑤ 災害ごみについて
- ⑥ 防災・減災対策について